

2010.7.23 (金) 曇り	杵差岳 (1636m)	(1315) E/S
---------------------	-------------	------------

行程		
胎内ヒュッテ 5:50⇒足の松尾根登山口 6:00→姫子の峰 6:45→滝見場 7:35→ イチジ峰 8:38→西ノ峰 9:21→大石山分岐 9:33→鉾立峰 10:10→杵差岳 10:55→ 杵差小屋 11:00→藤島玄のレリーフ前 11:10 11:35→大石山分岐 12:45→ 滝見場 14:00→姫子の峰 14:40→足の松尾根登山口 15:20 15:40⇒ 胎内ヒュッテ 15:50		
登り 4時間55分	下り 4時間	

梅雨も明け暑い日が続き山らしい山に行っていない。気晴らしに飯豊の花が見たくなり、日帰りで見られる山で思い浮かんだのが杵差岳。この暑い時日帰りは、少しキツイかも知れないが思い立ったら直ぐ行くのが私の性分。今の時期はヒュッテから、乗り合いタクシーが

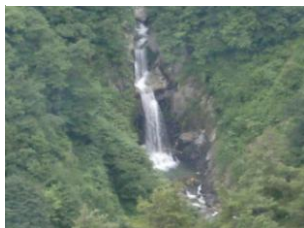


足の松登山口



姫子の峰

登山口まで出ているのでそれを利用する。出発は間に合うように駐車場まで行く。車は10台止まっていて県外車は佐賀ナンバーと八王子ナンバーの2台。支度をしてタクシー乗り場に行くと土日はジャンボタクシーだけど平日はタクシー1台だけ。生憎今日はヒュッテに前泊の人が5人。私を入れて6人、1度に行けないので3人ずつ2回行く事に、5人は杵差の小屋泊まりで日帰りは



滝見場からの滝

私だけなので1回目に乗せて貰う。片道300円を払いタクシーを降りすぐ歩き出す。登山口からブナ林に入り直ぐ木の根が張り出した急登。木の根や下がったロープにつかまり必死に登る。途中‘岩場注意’の看板があり1番目の岩場をロープにつかまり慎重に渡る。木の根につかまり少し登ると‘姫子の峰’の休み場。汗が大分出たので此处で水分補給。今日は暑いので水は‘0.5リトルで5本’持参。暑いので足りるかな？次は滝見場で一休み。滝を見ていると涼しそう、頭から水を掛けて貰いたい心境。とにかく暑い。まだまだ急登が続く2番目の岩場もロープにつかまり渡り水場分岐の手前のピークで大きなザックを担いだ男3人の縦走者に会う。



イチジ峰



下山途中のイチジ峰から大石山



大石山分岐



鉾立峰



杵差岳山頂



小屋とニッコウキスゲ

水場分岐からはブナの林の中の急登が始まり一歩一歩とゆっくり登る。少し登りが緩やかになり直ぐ尾根に出る。此処からこれから行く大石山の方向を眺めたが生憎ガスって何も見えない、残念。直ぐイチジ峰に着き、一休み。汗



杵差のお花畑

でビッショリのタオルを絞ると音たてて汗がしたたり落ちる。もう下着もズボンもびしょびしょ。気持ち悪いが仕方ない。此処からはガスの為周りは何も見えずただ登るだけ。やっとピークに着き大石山かと思えば違い西ノ峰、此処から 10 分少しで大石山分岐に着く。此処からは風も強くイグサの帽子が飛ばされない様に帽子の上から手ぬぐいで頬かむりする。鉾立峰に向かって下りるもガスで何も見えない。でも登山道に

は目的のお花が綺麗に咲いている。しかし風が強くとシャッターチャンスがありません。鞍部まで下りそこから鉾立山頂を目指しガスの中ただ黙々と登だけ。突然目の前に‘山頂’が現れるも風が強いのので写真を撮り直ぐ杵差を目指し鞍部まで下る。此処も登山道の脇にはお花がいっぱい咲いている。

ニッコウキスゲ、ハクサンフウロウ、タカネマツムシソウ、クルマユリ、マルバタケフキ、ヨツバシオガマ、その他いろいろ。



マルバタケフキ

藤島玄のレリーフの前を通り、杵差の小屋の周りはニッコウキスゲの群生地、あたり一面黄色で綺麗、汗を流して此処まで見に来た甲斐がありました。小屋の横を通り杵差岳の山頂まで、此処もガスって



ハクサンフウロウ



クルマユリ

居て又風も強く写真を撮り直ぐ下山。藤島玄のレリーフの前の風の当たらない所で昼飯を食べ、花を見ながらゆっくり下山する。鉢立峰を越え、鞍部の所で小屋に泊まる5人に会う。大石山分岐で少し休む。此処から登山口まで

3時間は掛からないだろう。12時45分に出れば16時のタクシーには間に合うはず。イチジ峰で一休み。登りより下りの方が大変、気を引き締め木の根っこにつまずかない様に岩場を慎重に越え、滝見場で休憩する。それから木の根っこの張り出した急坂を下り姫子の



イブキトラノオとユリ

峰で最後の休憩をとる。此処で最後の水5本目に手を付け一気に半分ほど飲む。今日は良く水を飲んだ、その分すごい汗が出る。下着もズボンも汗でクチャクチャ。此処から40分もあれば登山口に着く、何とかタクシーに間に合いそう。岩場を過ぎ何とか木の根っこの急坂も下り、登山口近くの平らな所のブナ林の中で汗クチャクチャの衣服のままタクシーに乗るのも悪いのでズボンから下着まで‘蚊’を気にしながら全部着かえる。登山口には既にタクシーが来ており、まだ16時には少し時間が有るが私一人なのでヒュッテまで行ってもらう。タクシーに乗る時運転手さんも心得たもので座席が汗やその他で汚れない様に座席にカバー

を付けました。料金片道300円なり、タクシーはヒュッテで私を下し又登山口まで行き2便の16時20分まで居るそうです。此処からは自分の車で自宅に帰るだけ。入浴するとビールが飲みたくなるのでそのまま一気に帰る。今回の山行、暑い時期の日帰り杵差岳は私には少しキツイ、大分体力が落ちたみたい、少し寂しい気持ちになるも仕方ないか。



タカネマツムシソウ

(終わり)